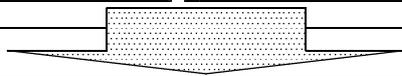


第3学年国語科学習指導案

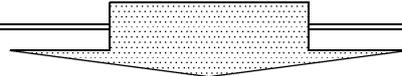
日時 平成26年9月30日(火) 4校時
児童 男子4名 女子10名 計14名
指導者 教諭 高橋 祐美子

1 言語活動のGPS (Grade=発達段階の明確化, Process=学習過程の明確化, Style=言語活動の種類や特徴の明確化) 「単元名 食べ物のひみつを読み取って、『へんしん!食べ物ブック』を作ろう」

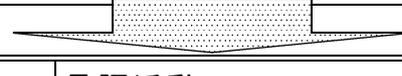
児童の実態			
○関心・意欲・態度	○身に付いている言語能力	○まだ身に付いていない言語能力	○既習事項・内容
<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に国語の学習に取り組む児童もいるが、自信がなく消極的になったり、面倒がったりする児童もいる。 大体の児童が楽しんで読書しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文は、接続語を使って順序よく展開されていることを理解する力。 説明文の問いと答えを見つめる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら読む力。 自分が伝えたいことの中心が分かるように書く力。 	<ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 説明文の構成は「はじめ-中-おわり」となり、問いと答えがあること。



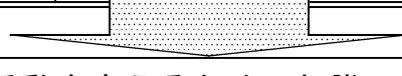
「読むこと」の能力を育てるための指導事項
<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えながら、文章を読むこと。 【読むこと (1)イ】 ・書こうとすることの中心が明確に伝わるよう、理由や事例を挙げて調査報告文を書くこと 【書くこと (1)ウ】



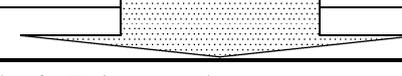
本単元で身に付けさせたい力
<ul style="list-style-type: none"> ・大豆をおいしく食べる工夫について、中心となる語や文をとらえたり構成を考えたりして読む力。 ←段落の中心となる語句をさがして要点をまとめ、段落相互の関係を考える。 ・書こうとすることの中心が伝わるように、理由や事例を挙げて書く力。 ←段落の構成や順序などの工夫を参考に、「へんしん!食べ物ブック」を書く。



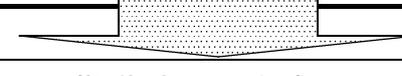
表現様式	言語活動
「へんしん!食べ物ブック」 食品が原料からどのように作られているかを三部構成で書いた説明文。	◎「へんしん!食べ物ブックを作ろう」 「はじめ・中・おわり」の三部構成で、例を挙げながら説明する仕方について中心教材から学ぶ。それをもとに、自分で調べた食べ物について、「へんしん!食べ物ブック」を書く。



言語活動を支えるための知識・技能		
○文章の構成をとらえる。 ・はじめ-中-おわり ・問いと答えの関係と問いがない文章	○中の展開の仕方をとらえる。 ・接続詞や接続語の使い方 ・並列関係や難解度に応じた展開	○説明文をかく。 ・学んだことを生かして書く。 ・相手意識をもって文章を書く。



学習材 「すがたをかえる大豆」(光村図書3年下) 補助教材 「イルカのねむり方」(光村図書3年上) 並行読書 食べ物の本(食品がどのように加工されているかが書かれている本)



指導計画の作成
第一次-単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 第二次-「すがたをかえる大豆」を読み、組み立てや段落毎の説明のしかたを読み取る。 第三次-食べ物について書かれた本を読んで調べ、「へんしん!食べ物ブック」を作る。

2 児童への事前調査

調査項目	すき	どちらかというとき	どちらかというとき	きらい
Q 1. 国語の学習は、好きですか。	3	5	2	4
Q 2. 説明文の学習は、好きですか。	5	3	5	1
Q 3. 物語文の学習は、好きですか。	6	2	4	2
Q 4. 話し合う学習は、好きですか。	6	5	1	2
Q 5. 読書は、好きですか。	1 1	1	1	1

(調査人数 14名 平成26年5月調査)

3 単元の指導目標と評価規準

指導目標	関心・意欲・態度	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事柄
	・疑問や課題を明確にしながらか調べようとしたり、調べて分かったことを報告する文章に書き表したいという思いを膨らませて読んだり書いたりすることができる。	・書こうとすることの中心が明確に伝わるよう、理由や事例を挙げて調査報告文を書くことができる。	・自分の課題や必要な情報を見つける上で中心となる語や文をとらえ、筆者の考えと事例など段落相互の関係を考えながら読むことができる。	・文や段落相互の関係を示す手掛かりとしての接続語の役割を理解することができる。
評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	・疑問や課題を明確にしながらか調べようとしたり、調べて分かったことを報告する文章に書き表したいという思いを膨らませて読んだり書いたりしている。	・調査の結果とそこから考えたことなどが明確に伝わるよう、理由や事例を挙げて調査報告文を書いている。 (ウ)	・自分の課題や必要な情報を見つける上で中心となる語や文をとらえ、筆者の考えと事例など段落相互の関係を考えながら読んでいる。 (イ)	・文や段落相互の関係を示す手掛かりとしての接続語の役割を理解し、読んだり書いたりする際に用いている。 (イ(ク))

4 単元の指導計画と評価計画 (11時間)

次	指導目標	時	主な学習活動	具体的評価規準
第一次	・単元のねらいを知り、学習の見通しをもつことができる。	1	○いろいろな食品を見て、何からできているか予想したことを話し合い、食べ物がいろいろな食品に加工されていることに興味をもつ。 ○「へんしん!食べ物ブック」を作り、吉里吉里小学校の3年生に紹介することをねらいに学習していくことを知り、学習計画を立てる。	食品を見て、何からできているか考えたことを、書いたり発表したりしようとしている。 (関心・意欲・態度)

	<ul style="list-style-type: none"> 自分が調べてみたい食材を出し合い、取材方法を考えることができる。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○関連図書を読み、興味を持った食材について話し合ったり、取材方法を考えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもったことを調べて報告文に書くための見通しをもつことができる。 (関心・意欲・態度)
第二次	<ul style="list-style-type: none"> 「すがたをかえる大豆」を読み、全体の構成を読み取ることができる。 	3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○「すがたをかえる大豆」を読み、3つの部分に分けることを通して「はじめ—中—おわり」の構成で書かれていることを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「すがたをかえる大豆」が「はじめ—中—おわり」の構成で書かれていることを理解し根拠を明らかにしながら3つの部分に分けている。 (読むこと イ)
	<ul style="list-style-type: none"> 「中」に書かれていることを、中心文をもとにまとめることができる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ○「中」の部分を読み、中心になる文を確かめながら、おいしく食べる工夫についてまとめる。 ○具体例の順序について、気づいたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「中」に書かれた具体例を、中心になる言葉を確認しながら表に整理することができる。 (読むこと イ)
	<ul style="list-style-type: none"> 「おわり」で筆者が言いたかったことを読み取ることができる。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○「おわり」の段落を読み、筆者の考えと事実の説明に分ける。 ○筆者の考えを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「おわり」の段落には、全体のまとめと筆者の考えが書かれていることを理解することができる。 (読むこと イ)
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や特徴に注意して、筆者の論の展開の工夫をとらえることができる。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ○説明の仕方の特徴や工夫をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主語や文末表現に着目して、論の展開の工夫をとらえている。 (読むこと イ)
	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物について書かれた本を読んで、「へんしん!食べ物ブック」を作る。 	7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ○麦、とうもろこし、牛乳などの食材がどのように加工されているか、説明する内容をメモする。 ○文章構成に気を付けて、食材がどのように加工されるか「へんしん!食べ物ブック」にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「すがたをかえる大豆」の構成を生かして、具体的な例を挙げて文章を書いている。 (書くこと ウ)

5 本時の指導 (3 / 1 1 時間)

<p>第三次</p>	<p>・「へんしん!食べ物ブック」を読み合い、学習のまとめをする。</p>	<p>11</p>	<p>○「へんしん!食べ物ブック」を読み合い、感想を交流する。 ○単元全体のふり返りをする。</p>	<p>単元を通して学んだことや身につけた力についてふり返り、自分の成長を感じている。 (関心・意欲・態度)</p>

「すがたをかえる大豆」を3つの部分に分け、「はじめ—中—おわり」の構成で書かれていることを理解することができる。

(2) 具体の評価規準

A	B	指導の手立て
「すがたをかえる大豆」が「はじめ—中—おわり」の構成で書かれていることを理解し、根拠を明らかにしながら3つの部分に分けたり、段落の内容を読み取ったりしている。	「すがたをかえる大豆」が「はじめ—中—おわり」の構成で書かれていることを理解し、根拠を明らかにしながら3つの部分に分けている。	接続語や加工された食品の写真に着目させることで、文章の構成に気付かせる。

(3) 本時の指導事項

「すがたをかえる大豆」の本文全体の構成をとらえさせるために、教材文を3つの部分に分けることを通して、説明文は、「はじめ—中—おわり」の構成で書かれていることを理解させることを本時の目標とする。説明文を「はじめ—中—おわり」の3つの部分に分けることは、段落相互の関係をとらえて文章を読むことになるため、説明的な文章の解釈に関する指導事項となる。そのための活動は、以下の通りで計画している。

まず、段落の書き出しの言葉を全員で確認することで、この文章は接続語を使いながら、論が順序よく展開されていることに気付かせる。また、「中」の部分には、具体的な例が挙げられていることから、どれが大豆を加工したものなのかを考えさせることで、文章が「はじめ—中—おわり」の3つに分けられることを、根拠を明確にしながらかつグループで話し合わせていきたい。

また、この単元の三次で行う「へんしん！食べ物ブック」を書くことに必要な学習だということを確認することで、食品がどのように加工されているかを紹介する言語活動につなげていきたい。

以上の活動を通して、説明的な文章の解釈に迫らせる。

(4) 展開

段階	学習活動	発問や指示 (○) 児童の反応 (・)	評価 (*) 及び留意事項 (・)
つかむ 10分	1 本時の学習課題をつかむ。	「すがたをかえる大豆」を「はじめ—中—おわり」の3つの部分に分けよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・「イルカのねむり方」も、「はじめ—中—おわり」に分けられたことを思い起こさせる。 ・「すがたをかえる大豆」には問いがないことを確かめる。 ・視点をもとに、「はじめ—中—おわり」に分けていくことを確認する。
	2 学習の目的と読みの手がかり(視点)を確かめる。	○問いの文はどこでしょう。 ・ありません。 ○書き出しの言葉や例に挙げた食品を使って「すがたをかえる大豆」を3つに分けてみましょう。 ○読みの視点は「書き出しの言葉」「大豆から作られた食品」です。	
	3 学習範囲を音読する。	○全文を読みながら、形式段落の書き出しの言葉にサイドラインを引きましょう。	

<p>さぐる 15分</p>	<p>4 形式段落の書き出しの言葉を確認する。</p>	<p>○書き出しの言葉を発表しましょう。 ・①は、「わたしたちの毎日の食事には」です。 ・②は、「大豆は」です。 ： (⑧まで確認する。) ○書き出しの言葉を見て、気が付くことはありませんか。 ・つなぎ言葉を使ってない段落があります。 ・「次に」とあるから2つめの説明だと思えます。</p>	<p>・視点に沿って引いたサイドラインをもとに、発表する。 ・接続語が使われているところと使われていないところがあることに気付かせる。 *「はじめ—中—おわり」の分け方を、理解している。(読むこと イ)</p>
	<p>5 グループごとに、どのように3つに分けるか相談する。</p>	<p>○8つの段落をどのように「はじめ—中—おわり」の3つに分けるといいか、グループで相談しましょう。どうして、そのように分けたのか、理由も考えましょう。</p>	
<p>ふかかめる 15分</p>	<p>6 3つに分ける分け方とその根拠を発表する。 7 3つに分けるときの分け方をまとめる。</p>	<p>○分け方とその理由を発表してください。 ・「はじめ」の部分は、①と②です。大豆の紹介が書かれているからです。 ・「中」の部分は、③から⑦です。大豆から作られた食べ物が紹介されているからです。 ・「中」の部分は、書き出しの言葉が、「分かりやすいのは、」とか「次に」と書いてあるからです。 ・「おわり」の部分は、「このように」と全体をまとめて書いてあるので、⑧段落です。 ○「へんしん!食べ物ブック」を書くときに、参考にしたいことは何ですか。 ・「はじめ—中—おわり」に分けて書きます。 ・つなぎ言葉を使って書きます。 ・「中」のところに、変身する食べ物を書きます。</p>	<p>・2つの視点から、根拠を明らかにさせる。 ・この時間の学習が「へんしん!食べ物ブック」の学習に生かすことができることを確認する。</p>
<p>まとめる 5分</p>	<p>8 学習のまとめをする。 9 今日の学習を振り返る。 10 次時の予告をする。</p>	<p>○板書をもとにして、学習を振り返りましょう。 ○説明文を3つに分ける学習について、感想をノートに書きましょう。 ○明日は、どのような工夫があるのか読み取っていきましょう。</p>	<p>・何名かの感想を紹介する。 ・次時は、「中」の部分のおいしくするための工夫を読み取ることを確認する。</p>

(5) 板書計画

⑧	⑦ 読みの手がかり	⑥	⑤	④	③	②	①	
このよう	これもの	さらに	また	次に	やすいの	大豆は	わたした日の食事	書き出し

